

総力結集

～もっと好きになる兵庫へ～

発行

兵庫県議会自由民主党議員団政務調査会
〒650-8567
神戸市中央区下山手通5丁目10-1
TEL:078-341-7711 (内線) 5090
FAX:078-351-0772
MAIL:info@jimin-kengi.org



臨時議会で新型コロナ対策の7月補正予算案を可決。自民党議員団を代表して戸井田ゆうすけ議員が質疑に立ちました(写真左下) (7/27)

り込んでいます。事業効果の早期発現とともに、現場を重視した施策展開を引き続き求めています。

次なる波に備えつつ経済回復を

東京をはじめ人口密集地などで、新型コロナウイルスの感染が再び拡大しています。兵庫県内でも新規感染者が増え、「感染警戒期」に入りました。この状況を踏まえ、感染の次なる波に備えつつ生活の日常化と経済活動の早期回復をめざさなければなりません。

このため、県では国の補正予算を活用して令和2年度7月補正予算案を編成し、7月27日に臨時議会を招集して可決しました。今年に入ってから5度目の補正となる今回の予算規模は、約473億円にのぼります。

感染がさらに広がる局面を見据え、入院医療体制など感染症対策の充実・強化を図るとともに、地域経済の早急な活性化対策や地域の元気づくり事業を盛り込んでいきます。

新型コロナウイルス対策 兵庫県対応の特色

公立3病院を中心とした「公私立病院ネットワーク」の構築

他の都道府県に先駆け「入院コーディネートセンター」を設置(入院調整で医療崩壊を回避)

陽性者は入院治療を原則とし、「自宅療養なし」(宿泊施設700床を確保)

医療資機材の「長期備蓄」(病院等9カ月分、社会福祉施設4カ月分など)

再警戒基準の「数値化」(新陽性者数1日あたり〈週平均〉10人以上など)

第二波に備えた「病床等の増強シナリオ」(フェーズに応じて病床の増加など)

7月補正予算で
473億円上乗せ

感染拡大の想定上限を引き上げ

近畿初の感染者が出た際の2月補正予算から始まり、今回で5度目となる新型コロナウイルス対応の7月補正予算では、**想定感染者数の上限を現行の30人以上から「40人以上」に引き上げ、病床数は500床から650床に、宿泊療養室数も500室から700室に拡大しました。**

同時に重点医療機関などの病床確保に伴う補助基準額を見直し、PCR検査体制を現行の1500件/日から「2500件/日」に拡充しています。

また、医療従事者らへの慰労金について、先の6月補正予算では新型コロナウイルスの患者を受け入れた施設や事業所の職員に20万円を支給することに決めていましたが、今回、**直接に対応していなくても一定の役割を担った施設などの従事者に5万円を給付することを加えました。**

同慰労金の対象に「児童福祉」を入れているのが本県独自の特色で、さらなる拡充を県当局に要望しています。

▶ 感染がさらに拡大する局面を見据え、国の専門家会議で示された「新たな流行シナリオ」も参考に、病床確保のフェーズを見直し

	感染小康期	感染警戒期	感染増加期	感染拡大期①	感染拡大期②
目安 (新規陽性者数 (1週間平均))	10人未満	10人以上 (再警戒基準)	20人以上	30人以上	40人以上 本県の1日あたり最大数 42人(4/11)にも対応
病床 (うち重症病床)	200床 (40床) 新規感染15人/日に対応	300床 (50床) 新規感染20人/日に対応	400床 (70床) 新規感染30人/日に対応	500床 (90床) 新規感染40人/日に対応	650床 (120床) 新規感染55人/日に対応
宿泊療養室	200室 (2施設)	200室 (2施設)	300室 (3施設)	500室 (4施設)	700室 (5施設)



県独自

医療従事者等への慰労金【対象の拡充】

区分	医療	介護	障害	救護	児童福祉
要件	①対象期間(3/1～6/30)中に10日以上勤務、かつ、②患者・利用者と接する従事者				
対象者	約19万人	約22万人	約9万人	約50人	約100人
対象施設	20万円	実際に患者等を受け入れ	感染者が発生、濃厚接触者に対応		感染者が発生
	10万円	県から役割を設定	—		—
	5万円	実際には患者等を受け入れず	県内の感染症対策に一定の役割を担った施設等を対象に、県として制度趣旨に即した支給対象範囲を明確に整理		—

兵庫県「新型コロナ追跡システム」の登録にご協力ください

◆新型コロナ追跡システムとは……

登録されたお店などで、新型コロナウイルス感染者の利用が判明した場合、同一日に利用したお客さまなどに、県から注意喚起情報をお知らせし感染拡大防止を図るものです。

◆事業者の皆さまへ……

システムに登録し、お店などにQRコードを印刷、掲示して下さい。

◆システムの特徴……

- ①登録方法は3ステップ（登録・印刷・掲示）のみです
- ②無料でご利用いただけます（QRコード作成に係る通信費、印刷費などを除く）
- ③お店などにとって感染症対策に取り組んでいることのPRになります
- ④お客さまが安心・信頼してお店をご利用いただけます

◆店舗等の利用者の皆さまへ……

店舗・施設やイベントに掲示されているQRコードを、訪れるたびに読み取り、陽性者の利用があったか否かの注意喚起情報を入手して下さい。

フォト・レポート



新型コロナの対応従事者慰労金について、対象の拡充を井戸知事に要請しました(7/10)



▲ 兵庫県看護協会・看護連盟会長から要望を受け取りました(7/8)



▲ 県当局と意見交換会を実施



▲ 宮崎まさお参議院議員を招いての土地改良推進議員連盟総会(7/16)



▲ スマートシティの推進についてオンライン会議で勉強会を開催(7/21)

◆◆◆ 今後の予定 ◆◆◆

9月／各種団体との意見交換会
令和3年度予算に向けた重要政策提言
第351回定例県議会 など

7月補正予算

地域経済の早急な活性化・地域の元気づくり①

緊急生活福祉資金貸付

補正予算額
20億円

一時的な資金が必要な人への貸付原資の助成を拡充

緊急対応型雇用創出事業

補正予算額
10億円

離職を余儀なくされた労働者などへのつなぎ雇用
実施規模：500人

※内容は今後の雇用情勢を踏まえ検討

消費生活推進モデル事業

補正予算額
1千万円

消費者トラブルやポストコロナ社会を見据えた
消費者教育や啓発

地域経済の早急な活性化・地域の元気づくり②

Welcome to Hyogo キャンペーンの拡充

補正予算額
2億円

※2020年7月21日現在。詳しくは兵庫県公式観光サイト
Hyogo! ナビ (<https://www.hyogo-tourism.jp/>) まで

宿泊割引支援事業

区分	現行分	追加分
時期	6/26～(完売)	7/10～募集中
対象者	全国	近隣府県
手法	旅行会社サイト 割引クーポン	対象宿泊施設に申し込み 精算時に割引適用
補助額	2000円	同左
人数	1000人	5万人
所要額	200万円	1億円

ひょうご五国のバス旅支援事業

区分	現行	変更
時期	7/10～募集中	同左
対象	県内旅行事業者	同左
補助額	【日帰り】@3万円 【宿泊】@6万円	【日帰り】@5万円 【宿泊】@10万円
所要額	7千700万円	1億3千400万円

ひょうごツーリズムバス実施事業

区分	現行	変更
時期	6/26～募集中	同左
対象	県外からのバス借り上げ	同左
補助額 件数	【日帰り】@3万円 【宿泊】@6万円	同左
特産品	—	1000/人贈呈
所要額	1億1千400万円	1億5千800万円